

佐用町では、森林環境譲与税を活用して、

- 森林所有者の森林経営計画への参加を促進して、間伐施業地の拡大を図りました。
- 原木の集出荷施設「木材ステーションさよう」の設置により、住民による里山林等の森林整備を促進しました。
- 所有者による経営管理が困難な山林の町有林化を促進しました。
- 民家、公に供する施設・道路・集会所等及び農地に被害を及ぼすまたは及ぼす恐れのある支障木の伐採等森林の整備を行いました。
- 林務業務の円滑実施のために新たに職員を雇用しました。
- 森林ビジョンの推進のため、林業事業体等との勉強会を行いました。
- 町内施設の改修に、町産木材を利用しました。
- 山林の情報収集のために、ドローン（無人航空機）を購入しました。

□ 事業内容

1 森林保全間伐促進事業

- 森林経営計画により間伐を実施した森林所有者に対して、間伐面積 1 haにつき 5 万円を補助しました。

【事業費】4,497千円（全額譲与税）

【実績】92.06haの間伐が実施できました。

2 森林資源活用事業

- 未利用木材の利活用及び住民による森林整備の促進のために設置した原木集出荷施設「木材ステーションさよう」を運営し、原木買取に1 t あたり3,000円の地域商品券を上乗せしました。

【事業費】983千円（全額譲与税）

【実績】1団体および個人12人から94.13 t の原木の出荷がありました。

3 町有林化促進事業（森林整備）

- 所有者不明の森林や放置森林の解消を目的とし、所有者による経営管理が困難な山林の町有林化を促進しました。

【事業費】111,463千円（一部譲与税）

【実績】187人から475.58haの山林を引き取りました。

□ 佐用町基礎データ

①令和5年度譲与額	45,100千円
②私有林人工林面積（※1）	9,958ha
③林野率（※2）	80.9%
④人口（※3）	15,863人
⑤林業就業者数（※4）	15人

※1、2：「2020農林業センサス」より※3、4：「R2年国勢調査」より

□ 譲与税活用状況（全体像）

区分	令和元年度 ～令和4年度	令和5年度	計	令和5年度末 時点の活用 率
活用額 (千円)	130,554	45,100	175,654	100%
譲与額 (千円)	130,554	45,100	175,654	

4 町単独治山事業（森林整備）

- ・ 民家、公に供する施設・道路・集会所等及び農地に被害を及ぼす、または及ぼす恐れのある支障木の伐採等森林の整備に係る事業費について補助しました。

【事業費】 1,485千円（全額譲与税）

【実績】 9箇所48本の支障木の伐採を行いました

5 林務アドバイザー雇用

- ・ 町有林化促進事業等林務業務の円滑実施のために新たに職員を雇用しました。

【事業費】 4,767千円（全額譲与税）

【実績】 2名雇用

6 森林ビジョン推進事業

- ・ 森林ビジョンの推進のため、林業事業体をはじめ、森にかかわる者等との勉強会や、林業現場等の現地視察会を実施しました。

【事業費】 1,049千円（全額譲与税）

【実績】 森林勉強会4回 現地視察会2回 森林ビジョン冊子の増刷

7 町産木材利用推進事業

- ・ 町内施設の改修や庁舎内備品に、町有林で伐採した木材の利用を推進しました。

【事業費】 1,879千円（一部譲与税）

【実績】 農産物直売所「味わいの里三日月」の内装材や商品棚に町産木材を使用

8 ドローン（無人航空機）購入

- ・ 奥地の山林情報の収集などに活用するためにドローン（無人航空機）を購入しました。

【事業費】 1,719千円（一部譲与税）

【実績】 ドローン（無人航空機）一台購入



（ 事業7 改修した味わいの里三日月 ）



（ 事業8 ドローンによる倒木被害状況の撮影 ）